

【菊花賞過去データ 京都開催2013~2020】

番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統	タイム
3	コントレイル	1	1.1	4	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Unbridled's Song	ファビオノ系	インリアリティ系	3.05.5
9	アリストテレス	4	23.0	5	エビファネイア	ロベルト系	Tサンデー系	ディーブインパクト	ディーブ系	グレイS系	3.05.5
10	サトノフラッグ	5	34.9	5	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Not For Sale	米ナスルーラ系	ダマスカス系	3.06.1
番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統	タイム
5	ワールドプレミア	3	6.5	4	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Acatenango	ハンプトン系	ノーザンD系	3.06.0
14	サトノルークス	8	24.7	5	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Sadler's Wells	サドラーズ系	ネヴァーB系	3.06.0
13	ヴェロックス	1	2.2	4	ジャスタウェイ	Pサンデー系	ニアークティク系	Monsoon	ブランドフォード系	ダンチヒ系	3.06.2
番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統	タイム
12	フィエールマン	7	14.5	16	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Green Tune	ニジンスキー系	プリンスリーG系	3.06.1
9	エタリオウ	2	3.6	4	ステイゴールド	Tサンデー系	ファイントップ系	Cactus Ridge	ストームバード系	ヒムヤー系	3.06.1
7	ユーキャンスマイル	10	31.7	9	キングカメハメハ	キングマンボ系	ノーザンD系	ダンスインザダーク	Tサンデー系	エタン系	3.06.3
番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統	タイム
13	キセキ	1	4.5	4	ルーラーシップ	キングマンボ系	グレイS系	ディーブインパクト	ディーブ系	トゥルビヨン系	3.18.9
4	クリンチャー	10	30.9	5	ディーブスカイ	Dサンデー系	ダンチヒ系	ブライアンズタイム	ロベルト系	ダンチヒ系	3.19.2
14	ポポカテペトル	13	44.2	9	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Mr. Greeley	ゴーンウエスト系	フェアウェイ系	3.19.2
番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統	タイム
3	サトノダイヤモンド	1	2.3	4	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Orpen	ダンチヒ系	ヘイロー系	3.03.3
11	レインボーライン	9	24.9	9	ステイゴールド	Tサンデー系	ファイントップ系	フレンチデピュティ	ヴァイスR系	ノーザンテースト系	3.03.7
13	エスピネル	6	20.5	4	キングカメハメハ	キングマンボ系	ノーザンD系	サンデーS	サンデーS	ノーザンテースト系	3.03.7
番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統	タイム
4	キタサンブラック	5	13.4	5	ブラックタイド	Tサンデー系	リファール系	サクラバクシンオー	プリンスリーG系	ボールドルーラー系	3.03.9
11	リアルスティール	2	4.3	4	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	Storm Cat	ストームバード系	ミスプロ系	3.03.9
17	リアファル	1	3.1	4	ゼンノロブロイ	Tサンデー系	ミスプロ系	エルコンドルパサー	キングマンボ系	ネヴァーB系	3.04.0
番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統	タイム
2	トーホウジャッカル	3	6.9	4	スペシャルウィーク	Tサンデー系	ニジンスキー系	Unbridled's Song	ファビオノ系	ヌレイエフ系	3.01.0
4	サウンスオブアース	4	8.6	4	ネオユニヴァース	Dサンデー系	エタン系	Dixieland Band	米国型ND系	ボールドルーラー系	3.01.1
10	ゴールドアクター	7	19.6	9	スクリーンヒーロー	ロベルト系	サンデーS	キョウワアリシバ	レイズAN系	タートウ系	3.01.7
番	馬名	人	単勝	間	父	父の系統	父の母父系統	母父	母父系統	祖母父系統	タイム
3	エビファネイア	1	1.6	4	シンボリクリスエス	ロベルト系	ボールドR系	スペシャルウィーク	Tサンデー系	サドラーズ系	3.05.2
14	サトノプレス	5	19.5	4	ディーブインパクト	ディーブ系	リファール系	トニービン	グレイS系	ボールドルーラー系	3.06.0
10	バンデ	3	11.5	3	Authorized	サドラーズ系	ブラッシングG系	Priolo	ノーザンD系	フェアウェイ系	3.06.0

勝ち時計が3分5秒未満の速い時計が出る馬場では母父に米国型血統を持つ「トップスピード強化型」が、それ以上時計の掛かる馬場状態では、欧州指向の配合馬が有利になります。

今回開催の京都芝は、展開次第で33秒台の上りタイムは出るものの、全体時計の方は京都としては遅い印象でございますな。

良馬場でハイペースになれば、ある程度の時計が出るかも知れませんが、通年通りの菊花賞ペースになれば、良馬場でも3分6秒以上掛かるのでは？と想像しております。

よって、今年は「欧州指向」の血統馬に有利になると予想致します。

【菊花賞過去データ 京都開催2013～2020】

番	馬名	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順
3	コントレイル	1	1.1	4	3.05.5	7	7	5	4	35.2	2	G2	中京	2200	良	1	1	差し	2
9	アリストテレス	4	23.0	5	3.05.5	7	7	7	4	35.1	1	2勝	中京	2200	良	2	1	先行	3
10	サトノフラッグ	5	34.9	5	3.06.1	14	15	15	14	35.2	2	G2	中山	2200	良	1	2	先行	1
番	馬名	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順
5	ワールドプレミア	3	6.5	4	3.06.0	7	6	8	6	35.8	3	G2	阪神	2400	良	3	3	差し	1
14	サトノルークス	8	24.7	5	3.06.0	10	11	12	7	35.7	1	G2	中山	2200	重	8	2	差し	3
13	ヴェロックス	1	2.2	4	3.06.2	4	4	4	4	36.2	5	G2	阪神	2400	良	2	2	先行	3
番	馬名	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順
12	フィエールマン	7	14.5	16	3.06.1	7	7	5	6	33.9	1	G3	福島	1800	良	1	2	追込	1
9	エタリオウ	2	3.6	4	3.06.1	10	9	8	6	33.9	1	G2	阪神	2400	良	3	2	追込	1
7	ユーキャンスマイル	10	31.7	9	3.06.3	9	9	10	10	33.9	1	2勝	新潟	2200	良	2	1	差し	1
番	馬名	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順
13	キセキ	1	4.5	4	3.18.9	14	14	12	7	39.6	1	G2	阪神	2400	良	2	2	差し	1
4	クリンチャー	10	30.9	5	3.19.2	11	11	7	2	40.2	4	G2	中山	2200	良	4	9	先行	12
14	ポポカテペトル	13	44.2	9	3.19.2	9	7	7	3	40.1	3	2勝	新潟	2200	良	2	1	先行	8
番	馬名	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順
3	サトノダイヤモンド	1	2.3	4	3.03.3	8	8	9	5	34.1	1	G2	阪神	2400	良	1	1	差し	2
11	レインボーライン	9	24.9	9	3.03.7	14	14	16	12	34.2	2	G2	札幌	2000	稍	4	3	追込	1
13	エアスピネル	6	20.5	4	3.03.7	3	3	5	5	34.6	4	G2	阪神	2400	良	2	5	後方	3
番	馬名	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順
4	キタサンブラック	5	13.4	5	3.03.9	5	5	10	8	35.0	1	G2	中山	2200	良	6	1	先行	11
11	リアルスティール	2	4.3	4	3.03.9	7	8	7	7	35.1	2	G2	阪神	2400	良	1	2	差し	1
17	リアファル	1	3.1	4	3.04.0	2	2	4	3	35.3	4	G2	阪神	2400	良	3	1	逃げ	2
番	馬名	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順
2	トーホウジャッカル	3	6.9	4	3.01.0	5	5	5	2	34.5	2	G2	阪神	2400	良	9	3	差し	1
4	サウンズオブアース	4	8.6	4	3.01.1	10	10	8	4	34.4	1	G2	阪神	2400	良	8	2	差し	2
10	ゴールドアクター	7	19.6	9	3.01.7	5	5	7	6	35.0	6	2勝	札幌	2600	良	1	1	先行	2
番	馬名	人	単勝	間	タイム	1角	2角	3角	4角	上り	上順	前走				人	着	脚質	上順
3	エピファネイア	1	1.6	4	3.05.2	3	3	2	2	35.9	2	G2	阪神	2400	良	1	1	先行	2
14	サトノプレス	5	19.5	4	3.06.0	7	7	6	4	36.2	4	G2	阪神	2400	良	2	3	先行	4
10	バンデ	3	11.5	3	3.06.0	1	1	1	1	36.9	8	2勝	阪神	2400	良	1	1	逃げ	1

【枠順傾向】

スタートから3角まで200mしかないコースレイアウトもあって、大外枠は非常に不利になる傾向があります。

2013年以降の京都開催で、8枠で馬券に絡んだのは2015年の1人気リアファル(3着)のみと言う極端さでございます。

勝ち馬も、3枠より内の枠から6頭出ており、基本的には内が有利だと考えて差し支えございませんまい。

【脚質傾向】

菊花賞は末脚の要求度が非常に高い長距離戦でございます。特に外回りコースが使用される京都開催では、馬場状態や勝ち時計に関係なく、前走で上り3位以内の脚を使っていた馬が3着以内馬24頭中20頭を占めております。

菊花賞本番でも、連対馬16頭中14頭が上り3位以内の末脚を使った馬。

基本的には、上り上位の実績がある馬、

特に前走で上り3位以内の末脚を使っていた馬が馬券の軸にふさわしい実績だと考えております。

【レース間隔の傾向】

前走から4週目、5週目(中3週～中4週)が19頭。  
前走から9週目(中8週)以上の休み明けが5頭。

叩きを使ってきた馬の成績が安定しておりますが、休み明けの馬が穴をあける傾向もあり、軽視は禁物でございますな。

特に、前走条件戦や2000m以下の重賞からの参戦馬に注意が必要だと考えられます。

新装京都外回りコース(1600m以上)の複勝率順「種牡馬別」成績

種牡馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回率	複回率
ドウラメンテ	2- 2- 6-12/22	9.1%	18.2%	45.5%	22	132
ゴールドシップ	2- 2- 1- 6/11	18.2%	36.4%	45.5%	70	67
ディーブインパクト	6- 3- 2-17/28	21.4%	32.1%	39.3%	118	67
ロードカナロア	3- 4- 3-16/26	11.5%	26.9%	38.5%	29	83
キズナ	4- 2- 4-17/27	14.8%	22.2%	37.0%	57	68
シルバーステート	1- 3- 0- 7/11	9.1%	36.4%	36.4%	84	58
モーリス	2- 1- 2- 9/14	14.3%	21.4%	35.7%	50	107

※赤文字は「ディーブ系種牡馬」

新装京都外回りコース(1600m以上)の複勝率順「母父系統別」成績

母父系統	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回率	複回率
デインヒル系	4- 6- 3-13/26	15.4%	38.5%	50.0%	63	81
ディーブ系	4- 7- 4-21/36	11.1%	30.6%	41.7%	45	86
ファピアノ系	4- 2- 1-10/17	23.5%	35.3%	41.2%	112	84
ヴァイスR系	5- 1- 3-18/27	18.5%	22.2%	33.3%	62	59
リファール系	0- 2- 1- 7/10	0.0%	20.0%	30.0%	0	66
ロベルト系	4- 4- 3-28/39	10.3%	20.5%	28.2%	48	106

## 菊花賞2023「全頭診断」

### 【1番トップナイフ】

父は欧州ダンチヒ系のデクラレーションオブウォーで距離に不安を感じさせる血統ですが・・・

半兄のステラウインドは3000mの万葉Sを勝っており、牝系ファミリーからは菊花賞2着他、中長距離G1を7勝したティエムオペラオーが出ております。

また、本馬の配合には、凱旋門賞馬を出したブラッシンググループの4×4クロスが発生しており、祖母の父バンブーアトラス(欧リポー系)はダービー馬でございます。

血統イメージよりもはるかに長い所に向く配合馬であり、かりにもG1で2着の実績を持つ馬。

対戦してきた相手も骨っぼいメンバーであり、前走では、ダノンベルーガ、ヒシイグアス、ジャックドールと、古馬の一線級に先着しての2着。

今年は先行勢が半数以上を占めるメンバー構成でありますれば、多少なりとも上り時計を要する展開になれば、「狂気の血リポー」持ちらしい激走を見せてくれるかもしれません。

血統評価：**注**

能力評価：**A**

末脚評価：**B**

### 【2番ウインオーディン】

父が欧州型ロベルト系エピファネイア

母父はPサンデー系フジキセキ(持続力強化血統)

祖母父が欧ニジンスキー系で、どちらかと言うと

末脚の要求度が低い「持続戦」に向く配合と見受けれます。

つまり、菊花賞のレース質とは逆方向の血統でございますな。

血統評価:C

能力評価:D

末脚評価:C

#### 【3番シーズンリッチ】

父は欧キングマンボ系ドウラメンテ、  
母父にTサンデー系ハーツクライ、  
祖母父が米APインディ系で、  
トニービンの4×4クロスを保持しております。

アルゼンチン牝系ですので、高速馬場での  
末脚勝負に向いておりますが・・・  
この馬には、その血統の恩恵が授からなかったようすな。

3歳春の重賞ウイナーではありますが、  
成長力に欠けるのか、現時点では評価しにくい1頭だと  
拙者は感じております。

血統評価:**B**

能力評価:C

末脚評価:D

#### 【4番ダノトルネード】

父がTサンデー系ハーツクライと言うのは、  
イメージからすれば「長丁場良さげやな」でございますが、  
京都開催の菊花賞に同産駒が10頭出走して、  
最高着順は6着という鬼門血統のひとつでございます。

また、母父が豪州のフェアリーキング系と言うのは、  
スプリント血統であり、母シーウィルレインは豪スプリントG1を2勝。  
少し距離適性の面で不安になる血統だと感じております。

2200mのG2京都新聞杯でサトノグランツと同タイム2着  
と言う実績は評価したいところですが、前残りの展開に  
助けられた印象もあり、何よりも未だ1勝馬。  
ちょっと買いにくい印象でございますな。

血統評価:D  
能力評価:C  
末脚評価:C

#### 【5番パスクオトマニカ】

父はTサンデー系ヴィクトワールピサ、  
母父がディーピンパクト。  
祖母父は米国の持続力血統ヒムヤー系。  
欧州色が薄い事も、今の「非高速馬場」の京都芝では  
割り引き材料であり、サンデーサイレンスの3×3クロスを  
持つ馬は、芝の中長距離重賞に非常に適性が低く、  
芝の上級条件なら短距離で、ダートなら中距離で走ります。

血統評価:E  
能力評価:D  
末脚評価:D

#### 【6番リビアングラス】

ディープ系キズナは、新装京都外回りコースの上位種牡馬。  
母系が米国牝系なので、軽い馬場になった方が良さそうですが、  
前走で古馬が相手の2勝クラス阿賀野川特別(2200)を  
逃げて上り4位で完勝している事は評価すべきだと考えます。

血統評価:C  
能力評価:B  
末脚評価:B

### 【7番タスティエーラ】

父の欧ND系サトノクラウンは、ダービー3着のあと  
距離を考慮して菊花賞に向かわず天皇賞秋に出走(17着)  
母父のマンハッタンカフェは菊花賞馬。  
判断の難しい配合でございますな。

拙者がこの馬に不安を覚える点は、  
今年のダービーが「末脚の要求度が低いレース」であった事。

具体的には、上り3位以内の末脚を使った馬が  
1頭も馬券に絡まない特殊なダービーで、  
だからこそ、従来のダービー血統とは程遠い配合の  
この馬が勝ち、ダービーの鬼門血統である母父サドラーズ系の  
ソウルオリエンスが2着に入線できたのだと考えております。

上り3位以内馬が1頭も馬券に絡まなかったダービーは、  
2018年にもありましたが、その時の2着馬エポカドーロは  
菊花賞で3人気8着に敗れ、3着馬のコズミックフォースは  
菊花賞で15着に大敗しております。

今年の菊花賞が、ダービーと同じような  
「末脚の要求度が低いレース」になれば、ダービーの1着2着が  
ここでも好走するのでしょうか、個人的には「それはないやろ」  
とか思って(思ったがって)おります。

もともとダービー馬が苦戦する傾向が強い菊花賞。  
ここは気持ちよく飛んで頂きたいものですな。

血統評価:C

能力評価:A

末脚評価:C

### 【8番サヴォーナ】

ディープ系キズナは、新装京都外回りコースの上位種牡馬。  
母父は豪州ダンチヒ系スニツツェル(スプリント血統)  
祖母父の欧フェアウェイ系ロードアトウォーは、  
米国のダ2000mG1馬でございますが、  
産駒はスプリンターに出る傾向がございますな。

ただし本馬は、血統の青写真とは真逆の適性を持った突然変異で、  
母系の短距離適性が、直線のトップスピード強化に作用し、  
父キズナの距離適性を受け継いだものと考えられます。

前走は高速馬場の神戸新聞杯で、先行して上り5位2着(レコードタイムタイ)  
2走前は、時計の掛かる良馬場の福島2600m(2勝クラス)で  
逃げて上り2位の末脚を使い圧勝しております。

キャリア10戦中8戦で上り3位以内をマークしており、  
馬場の軽重を問わないのは大いなる武器と申せましょう。

血統評価：**B**  
能力評価：**B**  
末脚評価：**A**

#### 【9番ノッキングポイント】

父モーリス(欧ロベルト系)は、新装京都外回りコースの上位種牡馬。  
母チェッキーノ(父キングカメハメハ)はオークス2着馬。  
牝系ファミリーからは2500m以上の重賞活躍馬が複数出ており、  
モーリス産駒の本馬でも、距離の心配は無用かと存じまする。

欧州指向が強い配合馬なので、時計が速すぎる高速馬場よりも  
標準的な時計の馬場でパフォーマンスが上がるタイプですな。  
つまり、今の京都芝は最適と考えられます。

前走は古馬混合重賞を先行して上り3位で完勝。  
2走前のダービーは、馬場が軽くて切れ負けしましたが、  
15人気で0秒2差の5着なら、能力は高いと考えられましょう。

血統評価:C

能力評価:A

末脚評価:B

#### 【10番マイネルラウレア】

ゴールドシップ産駒は新装京都外回りコースの上位種牡馬。

ですが、それは下級条件での結果で、上級条件では

全く通用していないのが現状でございますな。

母父も祖母父も米国型血統で、もう少し欧州指向が欲しい所。

血統評価:D

能力評価:C

末脚評価:C

#### 【11番サトノグランツ】

父は菊花賞馬ディープ系サトノダイヤモンド。

母父は欧ダンチヒ系デインヒル

祖母父は欧ニジンスキー系エルナンド(凱旋門2着/JC3着馬:上り最速)

母の半妹シーオブクラスは英・愛オークス馬で

凱旋門賞の2着馬でもあります。

父も母系も、スタミナと末脚を要求されるレースに強く、

菊花賞には非常に高い適性を持っていると考えられます。

ただ、最大の武器のひとつであるスタミナに関しては、

キャリアを重ねる事でしか完成しない為に、春のクラシックには

間に合わず、陣営も主戦の川田Jも、早い時期から「秋からの馬」と

割り切って育成していたようでございますな。

血統評価:A

能力評価:A

末脚評価:A

### 【12番ハーツコンチェルト】

菊花賞に相性が悪いハーツクライ産駒で、  
母父が高速馬場なら役に立つ米ミスプロ系アンブライドルズソング。  
祖母父も米国型ダンチヒ系で、直線のトップスピード強化に  
特化した母系の血統構成でございますな。

しかしながら、その割には少しガツカリな末脚で、  
ダービーでも神戸新聞杯でも上り3位以内をマーク出来ず、  
身分は1勝馬のまんまでございますな。

その上、菊花賞に相性が悪い関東馬。  
拙者としては買いたくない上位人気馬でございます。

血統評価:D

能力評価:C

末脚評価:C

### 【13番ナイトインロンドン】

父は欧トウルビヨン系の影響を受けた  
ディープ系種牡馬グレーターロンドンで、  
母父も欧トウルビヨン系メジロマックイーン。

距離実績から見ますと、マイラーの父よりも  
母父メジロマックイーンの影響が強いようで、  
末脚が生きるような重賞ではスピードが足りない  
スタミナー辺倒のタイプではないかと感じております。

土砂降りになって、水田のような馬場になれば  
複勝を買いたいと思いまする。

血統評価:D

能力評価:D

末脚評価:C

【14番ソールオリエンス】

父は菊花賞馬キタサンブラック。

母父は菊花賞馬タイトルホルダーの母父と同じ

欧サドラーズ系モティベーターでございますな。

祖母も凱旋門賞血統で、距離が延びる程パフォーマンスが上がりそうな配合馬だと考えられます。

また、皐月賞馬は菊花賞に好相性であり、  
関東馬という事以外に強い割引材料は見出せません。

血統評価:B

能力評価:A

末脚評価:B

【15番ファントムシーフ】

ハービンジャー産駒は2600mまでは強いですが

3000mを超えると、重賞ではからっきしの種牡馬でございます。

母父は米国型サドラーズ系メダグリアドーロで、祖母父が欧デインヒル。

皐月賞は向こう正面で落鉄。

ダービーは絶望的なポジション。

神戸新聞杯は超高速馬場が不向き。

と言った具合に、近3走の敗戦には言い訳はあります。

ただ、母父にメダグリアドーロが入ると

3歳秋以降から芝適性が低下して、ダートにシフトする傾向があり

ここで好走するには、雨乞いが必要かも知れません。

血統評価:D

能力評価:B

末脚評価:C

### 【16番ショウナンバシット】

父はディープ系シルバーステートで、

母父が米サドラーズ系メダグリアドーロ。

祖母父は米ヴァイスリージェント系。

この配合から、高速馬場での末脚に期待して、

ダービーでは◎を、神戸新聞杯では★を打ちました(\*\_\*)

結局のところ、母父メダグリアドーロの呪い？で

この先、芝の重賞で変わり身を見せる機会は

無いのかも知れませんなあ・・・

血統評価:C

能力評価:D

末脚評価:C

### 【17番ドウレッツァ】

父ドウラメンテと、豪州牝系の母との配合馬。

この配合は、先週の秋華賞で史上7頭目の

3冠牝馬に輝いたリバティア일랜드と同じですな。

ちなみに母のモアザンセイグリットは豪州のオークス馬で、

豪州の天皇賞春にあたるG1オークランドカップ3着馬。

戦ってきた相手に、特別凄い馬がいた訳ではありませんが、

前走の3勝クラスでは、先行有利な馬場と展開の中、

鞍上の戸崎Jが「可哀想な競馬になって馬に申訳ない」

と言う程に絶望的なポジションから上り最速勝ち。

2走前は、逃げ馬が楽なペースで行き、

4角では6馬身以上離された3番手追走で、

「あー、これは前が止まらんやろなあ」

と思っていたら、上り32秒7と言う

とんでもない末脚であっさりとし切り勝ち。

とにかく、デビュー戦を除く

4連勝は全て上り最速勝ちの実績馬。

過去の京都開催菊花賞では、

鬼門とされる大外枠に入りましたが、

4コーナーの角度が緩くなった

新装京都外回りコースの2200m以上では以下のように

8枠が一番有利な枠に生まれ変わっております。

↓↓↓

【5・2・4・14/25】

勝率20% 単回率104%

複率44% 複回率106%

※この事には昨日の夜に気がきました・・・(;・∀・)ナイショ

血統評価：**A**

能力評価：**注**

末脚評価：**AA**